

若者等活動拠点施設整備に向けた検討会（第2回）結果報告

日時 平成30年1月29日（月） 午後7時00分～8時50分

場所 高山市役所 地下大会議室

出席者 検討メンバー 31名

事務局（高山市企画課、飛騨高山大学連携センター）3名

内容

1. あいさつ(開会) 田谷参事

- ・ 第1回は検討メンバーの顔合わせ会として開催した。本格的な検討は本日からである。
- ・ 本日は、検討に先立ち、候補施設である旧村田邸の歴史等について、地元の川上さんよりミニ講座をいただく。
- ・ また、12月から1月にかけて計5回の「下町デザイン講座（主催：飛騨高山大学連携センター）」を開催し、下町エリアを面的な視点により検討したが、その概要を、飛騨高山大学連携センターの下裏副センター長より報告いただく。
- ・ 検討に当たっては、検討メンバーによる議論を重視して進めていきたい。

2. ミニ講座「旧村田邸の歴史等について」 川上富子さん（下二之町の住民）

- ・ 下二之町第1班の住民が鳩峯車台（秋の高山祭の屋台）を大切に守り、伝えてきた。
- ・ 旧村田邸が歴史的・文化財的価値の高い建築物であり、地域にとって大切な場所である。
- ・ 旧村田邸が村田瑞枝さん（全国的に著名な日本画家）の生家である。 など

3. 情報提供「下町デザイン講座の報告」 下裏副センター長（飛騨高山大学連携センター）

- ・ 10代から60代の市民30名に参加いただき、11月から1月にかけて「下町デザイン講座」を開催した。
- ・ 講座には、東京大学の西村幸夫教授や横浜国立大学の野原准教授に協力いただいた。
- ・ 来年度は、下町全体の将来像を検討し、地域のビジョンづくりを進めていきたい。継続して調査等を実施していく予定である。

4. ワークショップ

- ・ 旧村田邸の「利活用方法を考える」をテーマに、A～Eの5グループ（1グループあたり6～7名）に分かれてワークショップを開催
- ・ 約40分間のグループワークの後、Aグループから順に検討案を発表（1グループあたり3分程度）

5. 閉会（3回目以降の進め方）

- ・ 次回（第3回）の開催は、2月10日（土）午前9時30分からを予定しているので、ご参加をお願いしたい。
- ・ 本日のワークショップで出た意見を整理し、次回の検討会に活用していきたい。グループ分けなど、ワークショップの細かな方法は、改めて検討する。
- ・ 来年度の設計業務に向け、平成29年度中には建築物としての用途（劇場、集会所、事務所など）を決められる程度の方向性を出していきたい。引き続き、よろしく願いたい。

以上